

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の建設

コード	名 称	
事業名	2038	リサイクルプラザ建設事業
基本施策	24	ごみを減らす生活を送る

担当部課名	生活環境部しらさぎクリーンセン
作成者氏名	金谷宗清
連絡先	24-4041

事業の計画・内容

建設目的 家庭から排出される資源ごみを破碎・選別・圧縮・梱包によるリサイクルを行うとともに、ごみの減量化・リサイクルに関する情報の提供や再生品の展示室・学習施設などの啓発活動の拠点施設整備を行い、資源循環型社会の構築を図る。	建設内容	1 建設用地	伊賀市治田地内
		2 建設面積(延床面積)	
		3 規模・構造	処理能力 約17t/日
		4 総事業費(千円)	803,045千円

投入資源

		H18	H19	H20
①投入人員	正規職員 (人)	0.1		1
	人件費合計(A)	720	0	7,200
	②支出内訳(千円)			
	事業費(B)	3,045	0	800,000
	委託料	3,045		
	工事費		0	800,000
	その他			
合計(A+B)		3,765	0	807,200
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,015	0	266,666
	地方債	1,600	0	480,000
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,150	0	60,534
上記①～③に関する特記事項 国交付金1/3				

運営体制の予定

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 民間委託
(委託先:			
2 配置予定人員	5人		
3 年間運営費	70,000千円		
4 市内の主な類似施設	なし		

事業年度

開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 19 年度
------	----------	------	----------

事業計画(※同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H18	H19	H20	H21	H22
調査設計業務	○				
建設			○		
稼働				○	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目 標
搬入ごみ量に対する再資源化率 (有価ごみ量/全搬入ごみ量)	有価ごみ(再資源化ごみ)量を把握することにより資源物のリサイクルの状況を示す指標となる。	平成 22 年度 86%

評 価	必要性	有効性	効率性
評 価	4	4	3
	現在の処理施設は、老朽化が著しく、故障が多発している状況にある。ごみを再資源として利用して行く施設の新設が是非とも必要である		
	市民のリサイクルに対する意識向上のため施設を提供することがごみの減量化につながる。		
施設を更新することにより維持管理等コスト面で効率性を図っていく。			

総合評価

A